

2014年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	阿野 幸一
基礎ゼミのテーマ	英語学習ストラテジーについて考える ー日本人が英語を身につけるための効果的な方法について、ディスカッションやディベートを通して考察し、理解を深めるー
サブテキストなど	必要に応じてハンドアウトを配布します。 *ゼミでは日本語と英語を活動で使い分けます。
お勧め対象	国際理解学科の学生で、国際コミュニケーション領域を選択し、特に英語教育に関心を持つ学生に勧めたい。

担当者名	生田 祐子
基礎ゼミのテーマ	“Learning to Live Together” (英語で学ぶ国際理解とコミュニケーション) 英語発信力は、言語の知識+WTC(=Willingness to Communicate)+使用頻度(機会)で決まるようです。このゼミでは、国連や国際理解に関する諸問題を題材に学習スキルを学び、同時に英語の発信力を高める色々な仕掛けを用意しています。英語を使いながらスキルアップしましょう。
サブテキストなど	オンライン教材等を教室で指示します。
お勧め対象	将来、英語を使って世界で仕事をしたいと願う学生！ グローバルな視点からの英語教育に関心のある学生など。

担当者名	金井 恵里可
基礎ゼミのテーマ	新聞を読む 社会を知る ー新聞記事を持ち寄ってグループディスカッション・グループ発表・ディベートを行うことにより、社会を見る目を養うー
サブテキストなど	日刊新聞各紙(スポーツ紙は除く) インターネット版のプリントアウトでもよいが、検索機能によって記事を選ぶことは禁止
お勧め対象	世界と日本で起こっていることを幅広く知りたい学生。新聞を毎日読まなければならないと思っているが一人ではなかなか続かない学生。

担当者名	北野 マグダ・レーナ
基礎ゼミのテーマ	This seminar will discuss ways to improve English skills. The most important ingredient for mastering English is to <u>spend time</u> either using or studying English. Students will be expected to try each of the methods on their own time, and report on the effectiveness and their impressions.
サブテキストなど	Prints, books in the LG
お勧め対象	Students who seriously wish to improve their English skills, and are willing to spend time to do so.

担当者名	齊藤 功高
基礎ゼミのテーマ	世界の中の日本、日本の中の世界 —世界における日本の立場を学び、日本の中の国際化を調査し、それらに関するディベートを通して、今後の日本と自分の方向性を検討する—
サブテキストなど	新聞、雑誌、ネットなどのデータを通して学習します。その他授業で使うテキストが出てくれば、その都度、指示します。
お勧め対象	国際協力分野の学生でグローバル化の中の日本の針路に関心のある学生

担当者名	千葉 克裕
基礎ゼミのテーマ	外国語習得研究について基礎知識を得る。 新書や論文を講読しながら、言語習得についての基礎知識を得ると共に、文献レポートやその発表の仕方を学びます。
サブテキストなど	「外国語習得に成功する人、しない人」白井恭弘著 岩波科学ライブラリー 1,100円（税別）
お勧め対象	言語習得や英語教育に関心を持っている学生にお勧めです。（本を読むことが好きな学生）

担当者名	本浜 秀彦
基礎ゼミのテーマ	「日本」のすがたかたちとニッポンの表現力 —日本の多様な文化を理解するとともに、歌舞伎からマンガまで、ポップな感性あふれる日本的表現の魅力を探る—
サブテキストなど	教場で指示します。
お勧め対象	1) 日本の文化や社会、歴史に関心を持つ学生、2) 文学、映画、絵画、演劇などに関心のある学生、3) 「日本」を英語で発信したい学生、他。

担当者名	山崎 裕子
基礎ゼミのテーマ	「考える」ことを考える —「哲学すること」を通じ、考える力と判断力を培う—
サブテキストなど	谷川徹三『哲学案内』講談社学術文庫 157 全13章のうち、5章分を取り上げる。ゼミ生が輪番で発表する。プリント配布。
お勧め対象	本を読むことと考えることが好きな人、真剣に勉強したい人に勧める。各分野に分かれる前の、木の根と幹の部分学ぶのであるから、領域を問わずに選択可能である。

担当者名	渡邊 暁子
基礎ゼミのテーマ	モノを通じてアジアと日本の関係について考える —国家という大きな枠組みではなく、人と人とのつながりのあり方について、文献やフィールドワークを通して理解する—
サブテキストなど	鶴見良行（1982）『バナナと日本人—フィリピン農園と食卓のあいだ』岩波新書 821円（Amazon.com等で送料込 300円程度）
お勧め対象	「歩く・みる・きく」が好きで、異文化理解、文化交流、国際協力等に関心を持つ、国際理解学科の学生。